



第8回
ユニット3 外国人児童生徒教育
における授業の方法を知る②

第二言語の学習の2つのタイプを知り、その意味を考える



南浦涼介

1

2

3

ユニット1

現状と課題を知り
「外国人の語学教育」ではないことを知る

概要

受入
方法

歴史
と
移動

4

5

6

ユニット2

子どもたちを知り
ことばと文化の
多様性に対する対応
のあり様を検討する

言語
社会

認知と
教育

異文
化

7

8

9

10

11

ユニット3

教育方法を知り
具体的な授業の発想や思想
具体的なスキルを検討する

日本語
構造

授業の
タイプ

教科と
日本語

初期
指導

イン
クル
ー
ブ

12

13

14

15

ユニット4

学校づくりを知り
多文化共生の地域や学校を
どのように構築するかを検
討する

学外
連携

共生
学校

学校
変革

小規
模校

I 知ってから使う

語彙・文法などの形式ができる



意味のあるやりとりにつながる

II 使いながら知る

意味のあるやりとりをする



語彙・文法の獲得につながる

活動1 2つの典型的な日本語学習のテキスト（大人向き）を比較せよ

担当1 解説しましょう

資料Aと資料Bを比べてみて、どのような全体のつくりかたの違いがある？

主に目次や使い方を参照しながら「全体として」「何を」「どのような順で」教えようとしているのか？

担当2 解説しましょう

資料Cと資料Dを比べてみて、どのような授業の違いがある？

主に授業のページ、使い方を参照しながら「授業で」「何を」「どのような方法で」教えようとしているのか？

担当3 解釈しましょう

資料Aと資料Bを比べてみて、どのような日本語の学び手がこのテキストを使うのに向いていそうか？

目次項目、使い方、授業の違いを見ながら

担当4 批評しましょう

資料Eを見て、なぜこのような違いが生まれるの？

「語録」資料を参照しながら、暗に込められたテキスト作成者の「教育の思想・意図」を考える

①



②



順序

1. まず自分たちをA、B、C、Dの役割に分ける
2. 個人で資料を読み、考えを整理する（15分）
3. グループでそれぞれの視点から左の説明を行う（各5分、全体で20分）

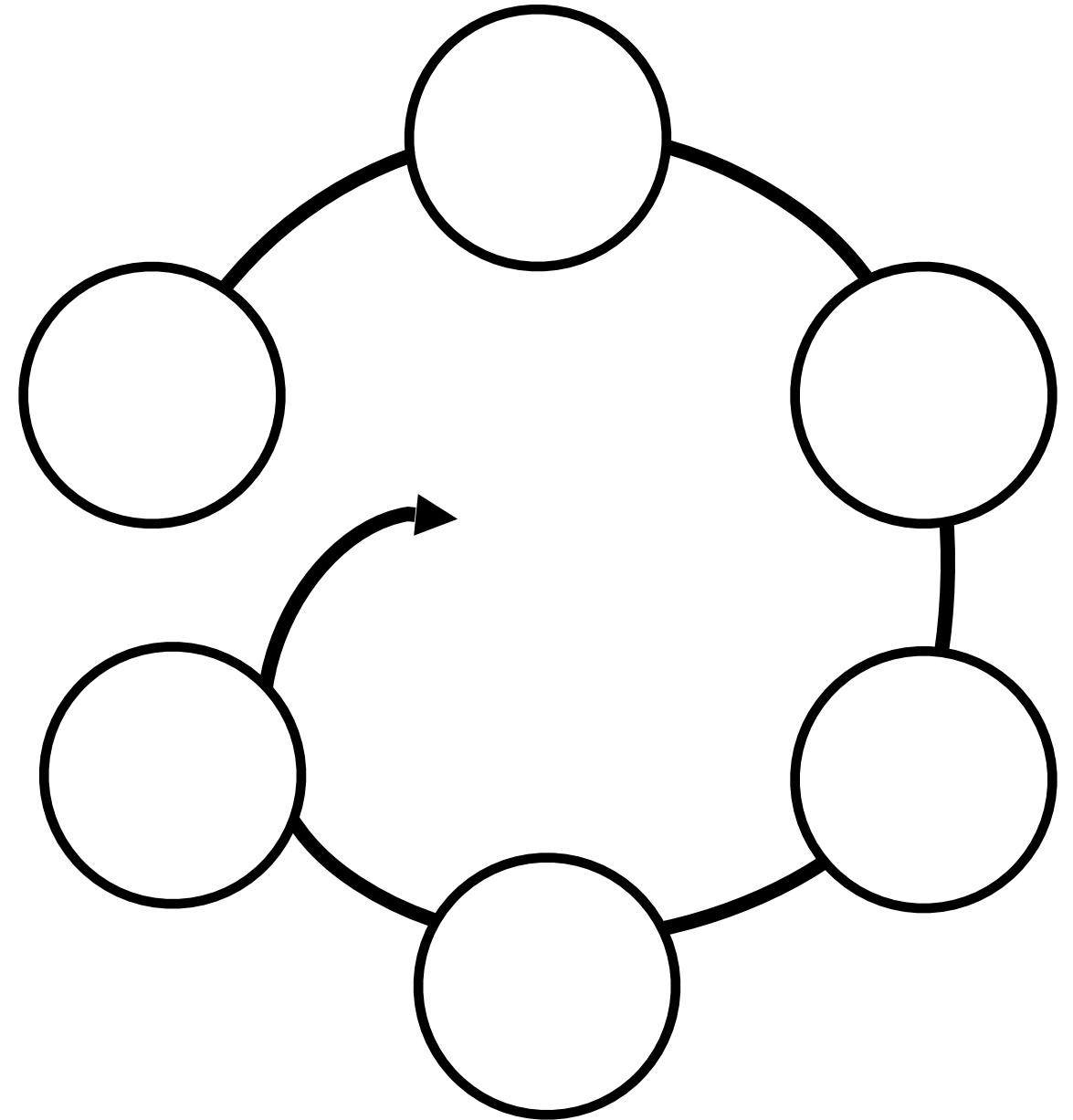
概念

学んでいくこと，成長していくことのイメージ



階段モデル

易→難



螺旋モデル

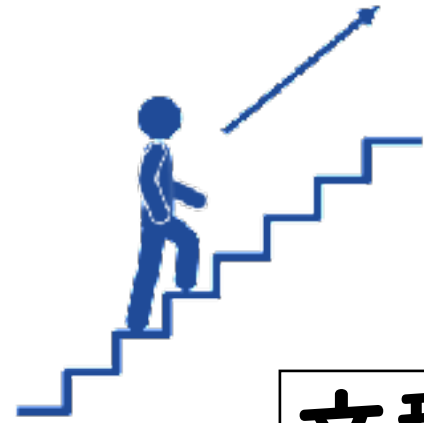
周縁→中心

概念

2つのテキストにある「思想」の違い

「文型中心」

(構造シラバス)



文型④や語彙④

文型③や語彙③

文型②や語彙②

文型①や語彙①

話題

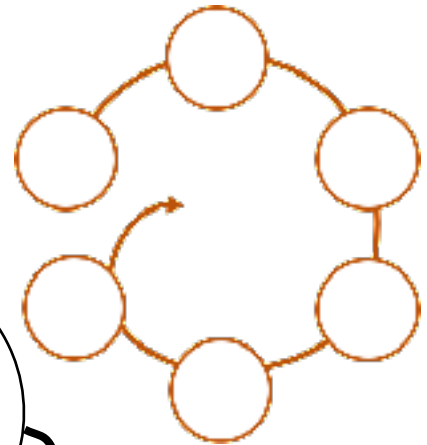
話題

話題

話題

「トピック中心」

(話題シラバス)



話題
B

語彙

文型

話題
C

語彙

文型

話題
D

語彙

文型

話題
A

文型

語彙

I 知ってから使う

第二言語の学び/教え

語彙・文法などの形式ができる



意味のあるやりとりにつながる



形式の獲得のためには
語彙や文法の練習
それを使った会話が大事

ことばの
学びに
ついての
哲学

だから
どのような
学習課題を
するべき？

II 使いながら知る

第二言語の学び/教え

意味のあるやりとりをする



語彙・文法の獲得につながる



意味のあるやりとりのためには
「リアルな内容」「リアルなやりと
り」であることが大事

チームを☆と♡に分けましょう

☆の人は♡の人に徹底的に「I 知ってから使う」第二言語教育を擁護しましょう！

♡の人は☆の人に徹底的に「II 使いながら知る」第二言語教育を擁護しましょう！

活動2

当てはめてみよう。子どもたち向きの日本語テキスト
これはどちらの考え方にもとづいている？

I 知ってから使う

第二言語の学び/教え

語彙・文法などの形式ができる



意味のあるやりとりにつながる

ことばの
学びに
ついての
哲学

形式の獲得のためには
語彙や文法の練習
それを使った会話が大事

II 使いながら知る

第二言語の学び/教え

意味のあるやりとりをする



語彙・文法の獲得につながる

だから
どのような
学習課題を
するべき？

意味のあるやりとりのためには
「リアルな内容」「リアルなやりと
り」であることが大事

①



②



①ひろこさんのたのしいにほんご

②こどもにほんご宝島

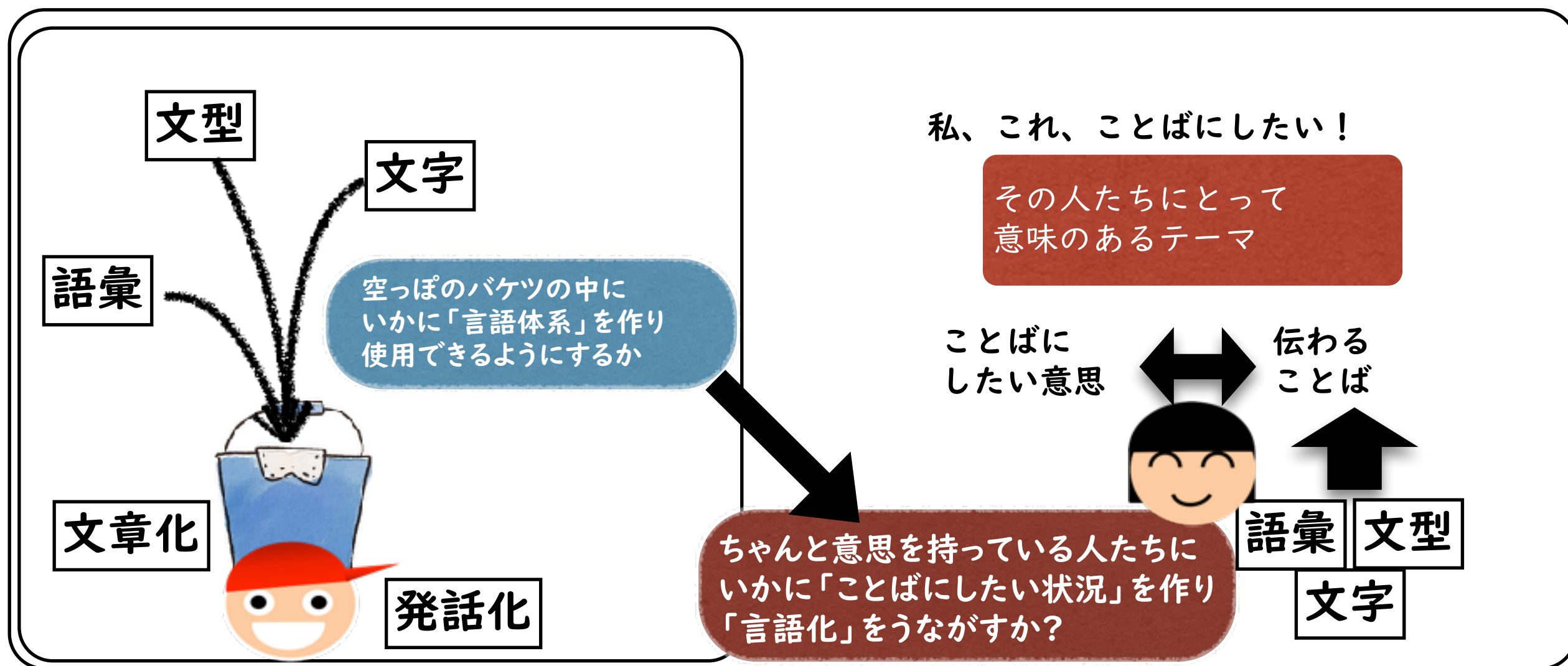
③東京都にほんごハンドブック（東京都）

④みえこさんのにほんご（三重県）

「I 知ってから使う」「II 使いながら知る」
のどちらに当てはまりそうですか？

概念

ことばを使うこととは、 ということ？



I 知ってから使う

II 使いながら知る

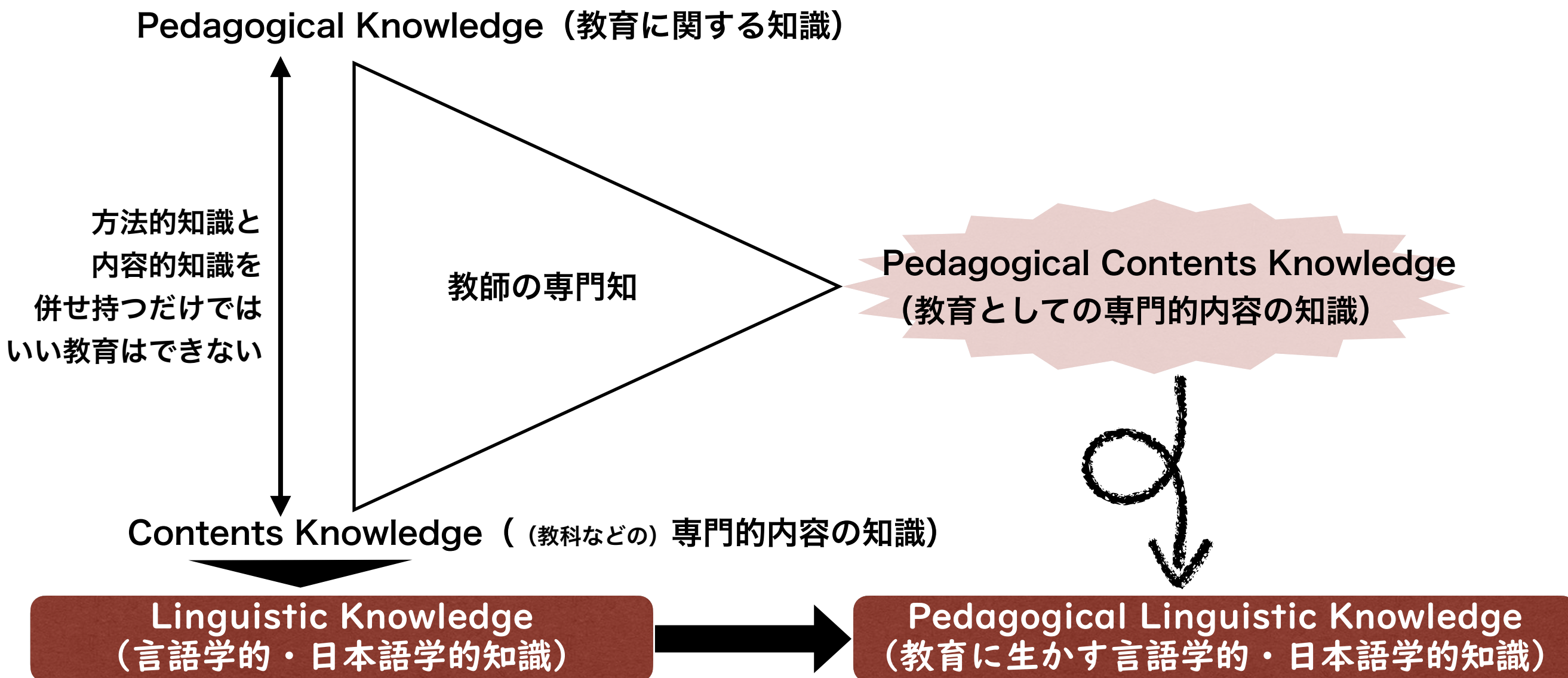
話合ってみよう

- ① 「I 知ってから使う」より「II 使いながら知る」ほうが重視されているのに、どうしてテキストは「II」が少ないのか？
- ② 「I」のタイプのテキストを使うときに、IIのような発想をうまくブレンドする方法はあるだろうか？

概念

第二言語教育の方法の基礎知識を 一般の教師が持つと、どんな役にたつか？

Pedagogical Contents Knowledgeの役割 (教育としての専門的内容の知識)



多くの人は「言語教師」にはならない。でも、言語教育の方法な知識を
一般の学校教師として持っている
言語的文化的に多様な子どもを前にしたとき、どういう良さがありそうか？

参考文献) PCKについては日本の教育学でも多様な論考が出ているのでそれらを参考にとよいです。

言語教育とPCKに関する論考はあまり多くありませんが、クマラヴァディヴェル (2011/2022) 『言語教師教育論』の第2章などを参照



第7回
ユニット3 外国人児童生徒教育
における授業の方法を知る②

第二言語の学習の2つのタイプを知り、その意味を考える



南浦涼介

1

2

3

ユニット1

現状と課題を知り
「外国人の語学教育」ではないことを知る

概要

受入
方法

歴史
と
移動

4

5

6

ユニット2

子どもたちを知り
ことばと文化の
多様性に対する対応
のあり様を検討する

言語
社会

認知と
教育

異文
化

7

8

9

10

11

ユニット3

教育方法を知り
具体的な授業の発想や思想
具体的なスキルを検討する

日本語
構造

授業の
タイプ

教科と
日本語

初期
指導

イン
クル
ー
ブ

12

13

14

15

ユニット4

学校づくりを知り
多文化共生の地域や学校を
どのように構築するかを検
討する

学外
連携

共生
学校

学校
変革

小規
模校